

東北広域次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北広域次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称)
第 676 回宮城産科婦人科学会集談会 / 宮城県がん・生殖医療ネットワーク年次総会
1. 担当分野
婦人科学分野
2. 実施年月日
令和 6 年 1 月 20 日 (土) 15:30~17:30
3. 開催場所・開催方法
宮城県医師会館 2 階 大手町ホール
4. 関連分野・領域
産婦人科
5. 対象者
主に産婦人科領域の医師・がん医療従事者・がん研究者
6. 参加者について
参加者合計人数:69 名 以下の内訳について教えてください 学内参加者数:19 名 学外参加者数:50 名 東北大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学、岩手医科大学での参加大学数:19 名 上記がんプロ連携大学、協力大学以外の参加大学数:1 名 なお、他の内訳もございましたら、以下にご記載ください(医師、薬剤師、看護師、など) 医師 61 名 看護師 2 名 胚培養士 2 名 検査技師 1 臨床心理士 1 名 県職員 2 名
7. 成果
近年、AYA 世代を対象としたがん生殖医療が注目されている。今回、精巣腫瘍の治療における妊孕性温存の現状について、精巣腫瘍治療の現場での事例を共有しながら、更なる改善に必要な課題を討論した。また、AYA 世代のがん患者に対する多職種連携について、胚培養士の立場から生殖補助医療支援体制構築の現状と今後の課題を共有頂き学びの場を得た。さらに、特別講演においては、がんサバイバー女性の周産期予後について最近の知見を収集、整理することができた。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

